

「(上野は)自然がいっぱい。(八勢眼鏡)橋が昔のつくりですごくいい」と話していたのは、滝尾小4年の川上芳樹くん(滝尾・左)と同小5年の平山稔大くん(同・右)の仲良しコンビ



史跡をめぐるって歩こう

健康ウォークラリーin上野

健康ウォークラリーが11月29日、上野地区で開催され、町内外から約120人が参加して、ウォーキングを楽しみました。フネッピーすこやかスポーツクラブなどが主催し、健康や体力づくりの増進などを目的として、今年で3回目。コースは、七滝中央小学校から、鼎春園や八勢眼鏡橋を通り、日向往還を折り返す約3kmの「史跡めぐり」。参加者たちは、上野地区の豊かな自然と紅葉、新鮮な空気を感じて、クイズにも挑戦しながら歩きました。ウォーキング後には、上野公民館生涯学習から参加者全員に特製だご汁が振る舞われていました。

観光農園で園児たちが一仕事

町立保育園合同で芋掘り体験

11月17日、吉無田高原「緑の村」で芋掘り体験が行われ、若葉や高木、上野の町立保育園の園児約100人が参加しました。畑は、グラウンド付近にある町有地約5㍍で、元々はコスモ畑。観光農園を試みようとして町職員たちで芋畑に「変身、させて、初めて企画されました。若葉保育園年中児の藤田絢子さん(滝尾)は、「おっきいおイモがたくさんほれてたのしかった。やきイモにしてたべたい」と話していました。芋掘りで「一仕事、した園児たちは、のっぺ汁や蒸かし芋、焼き芋のご馳走をおいしそうに食べていました。



丸々と太ったカライモを掘る園児たち

ロボコン王国「王座奪還、

全国高等学校ロボコン大会

11月15日、第17回全国高等学校ロボット競技大会が神奈川県横浜市で開催され、御船高等学校(板橋幹夫校長、719人)マイコン制御部3チームが2年ぶり5度目の全国制覇を成し遂げました。大会には、都道府県から129チームが出場。競技は、金太郎と熊ロボットの操縦者2人1組。ロボットを合体させ、障害物をクリアして、刀やお土産を回収しながら得点や時間を競います。昨年決勝で苦杯をなめた「御船A with ポチ」は順当に勝ち上がり、決勝で大村工業高校(長崎県)と対戦。張り詰めたプレッシャーをものともせず、全国大会でのベストタイムをたたき出し優勝を飾りました。同校3年の橋本英宗くん(小坂)と井上弥くん(熊本市)は、「昨年は準優勝で5連覇を果せなかった。王座を奪還できて嬉しい」と優勝の喜びをかみしめました。



安定した試合運びで優勝した「御船A with ポチ」。また「御船B with タマ」が3位、「御船C with シロ」が4位と上位独占。全国に御船高校のレベルの高さを知らしめた(御船高校提供)

町民保険課長を体験されて、来庁者に証明書を手渡される野口美祐紀さん(滝尾・右)



心が躍る天空ステージ誕生

「ゆうすげの丘」記念式典

11月28日、吉無田高原「緑の村」の山頂約650㍍に町商工会有志たちで造った「天空ステージ」「ゆうすげの丘」の記念式典が行われました。このステージは、昨秋に町商工会が開催した「秋の吉無田『動と静』」が好評を得て、地域住民から常設舞台を望む声が起こり、町議会と町商工会との懇話会で話がまとまり実現したものです。ステージは、約45㍍の石材を敷き詰めて、盛り土で造成した直径20㍍の円形型。材料や重機の費用は、すべて町商工会有志たちで負担されています。記念式典では、町から工事関係者の個人や団体に感謝状の贈呈と、肥後神楽や藤蓮の太鼓などが披露されて完成を祝いました。町商工会監事の上田正夫さん(滝川)は、「来春にはステージ上にも芝を張って、本格的な完成を目指したい」と話されていました。



豪快なダンスで記念式典に華を添えた「よさこい・肥後小巻組」。このステージは地球の50万分の1で設計されているほか、ステージ後方には、熊本市内や有明海の雄大な絶景をはじめ、夕日や夜景も一望できる

冬場に備えた放水訓練

消防団非常呼集訓練

御船町消防団(米田則昭団長、437人)の非常呼集訓練が11月8日、町内9箇所で分団ごとに行われました。訓練は、町内9箇所で火災が発生したと想定され、役場に設置された御船町消防団本部から、午前5時30分に各班の消防無線に出動を要請。消防団全31班324人と自主防災組織2班14人は、小型ポンプ積載車に乗り込み現場へと急行。水利やホース中継地点、放水位置の各持ち場に到着すると、手際よくホースを延長し連結。「放水始め」の号令を合図に放水が開始され、本番さながらの訓練を実践していました。



早朝の薄暗いなかでも、機敏な動きで放水を行う消防団員

役場に女性課長が13人誕生?

一日女性課長体験

11月24日、町内在住の女性を対象とした「一日女性課長」の体験が行われ、公募で選ばれた13人が役場の業務にあたりました。女性に行政を肌で感じてもらうと企画され、今年で3回目。辞令が交付された後、それぞれ13部署に配属されて、業務説明や予算編成会議、女性職員との懇話会などが行われました。総務課長を体験された土田キエコさん(上野)は、「総務課は机上事務のイメージをもっていましたが、防犯灯や町有林の現地視察にも同行できて勉強になった。次回は総務課以外の仕事ものぞいてみたい」と話されていました。